

高専発！「Society5.0型未来技術人財」育成事業

②COMPASS5.0 次世代基盤技術教育のカリキュラム化

背景

- AI戦略2019（総合イノベーション戦略推進会議令和元年6月11日決定）にある未来への基盤作り（教育改革）、産業・社会の基盤作り（社会実装）など、AI技術の発達により学びの変化、求められる人材像が大きく変革すると指摘されている。
- デジタルトランスフォーメーション（DX）時代（経済産業省DXレポート）に向けあらゆる産業においてITを今以上に活用することが求められ、AI、ロボット、IoTなどを組合せる実装力、蓄積されるビッグデータをAIで分析活用できる人材が、持続的な経済成長に求められている。

課題

- 数理・データサイエンスの基礎となる数理教育の更なる充実が必要。（AI戦略のリテラシーレベル）
- 未来の産業創造と社会変革に向けた新たな価値創造に繋がる最新の基盤技術（AI、ロボット、IoTなど）を各専門学科の高度化部分として、教材開発と教育実践が必要。（価値創造に繋がる各専門分野での基盤技術教育の羅針盤）
- Society5.0時代に即したAI（ディープラーニング）×専門分野に向けた教育実践が必要（AI戦略の応用基礎レベル）

目的

イノベーション創出に向けた人材を輩出するために、①AI時代に必要な知識・リテラシー教育・アントレプレナーシップ教育、②Society5.0を支える基盤技術教育、③AI×専門分野を学ぶ高専教育の更なる高度化を目指す。

事業概要

1. Society5.0時代の基礎教育

数理・データサイエンスの基礎に相当する教材開発と教育実践（AI戦略のリテラシーレベルに相当）、アントレプレナーシップ教育の実践

2. Society5.0を支える基盤技術教育

- ・各専門学科の高度化部分として、AI、ロボット、IoTなどを、拠点校を設置して教材開発を行い、必要な高専がそれを活用して基盤技術教育の充実を図る
- ・最新教材および教育方法を継続的に提供するために、教員に最先端技術を学ぶ機会や交流するスキーム構築と、教員人材スキルバンクのデータベース構築

3. AI（ディープラーニング）×専門分野の教育

各専門分野にAI（ディープラーニング）を活用するための教材開発と教育実践（AI戦略の応用基礎に相当）

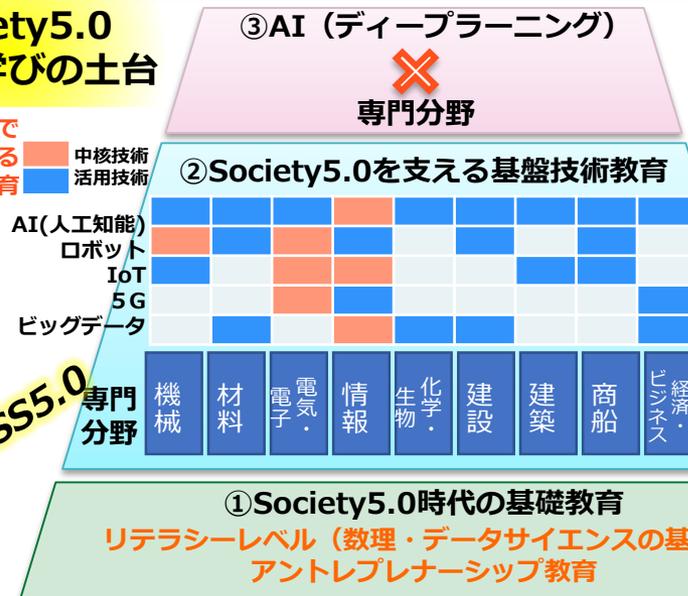
①GEAR5.0による“未来技術の社会実装教育の高度化”と接続

Society5.0時代の学びの土台

各専門分野で羅針盤となる基盤技術教育



KOSEN COMPASS5.0



各基盤技術教育毎に拠点校



教員交流スキームによる継続的な教育高度化



3期中目期間：MCCの実質化⇒4期中目期間：AI時代ならびにSociety5.0を支える基盤技術教育（これからの技術の高度化に関する羅針盤：COMPASS5.0）